

第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン 地域子ども・子育て支援事業 点検・評価表（令和2年度分）

～基本理念～

安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに成長できるまちづくり

| | |
|--|-------|
| 1 利用者支援事業 | P.1 |
| (子育て支援課、保育幼稚園課、親子保健課) | |
| 2 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター） | P.3 |
| (子育て支援課) | |
| 3 妊婦健康診査 | P.5 |
| (親子保健課) | |
| 4 乳児家庭全戸訪問事業 | P.7 |
| (親子保健課) | |
| 5 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 | P.9 |
| (子育て支援課) | |
| 6 子育て短期支援事業（ショートステイ） | P. 11 |
| (子育て支援課) | |
| 7 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター） | P.13 |
| (子育て支援課) | |
| 8 - (1) 一時預かり事業（幼稚園） | P.15 |
| (保育幼稚園課) | |
| 8 - (2) 一時預かり事業（その他） | P.17 |
| (保育幼稚園課、子育て支援課) | |
| 9 延長保育事業 | P.19 |
| (保育幼稚園課) | |
| 10 病児保育事業 | P.21 |
| (保育幼稚園課) | |
| 11 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） | P.23 |
| (教育委員会事務局 生涯学習課) | |
| 12 実費徴収に係る補足給付を行う事業 | P.25 |
| (保育幼稚園課) | |

点検・評価表の見方

委員氏名 []

2 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）

第二期支援プランP.136～138

事業内容

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感や負担感を緩和するとともに、子どもの健やかな育ちを支援することを目的に、公共施設や保育所・認定こども園、児童館等の地域の身近な場所で、未就学児のいる子育て家庭や妊婦が交流を行う場所を提供します。また、子育てに関する相談や地域の子育て関連情報の提供、親子で参加できる講座や子育て中の保護者のための講座等を実施します。

令和2年度の取組状況

各事業に対する新型コロナウイルスの影響を記載しています。

○新型コロナウイルスの影響

休館した時期(4月7日～5月10日、1月9日～2月10日)があり、開設した日数が減少したこと、また、新型コロナウイルスの感染を懸念しての来館控えから、利用人数が大幅に減少したものと推測している。

○実施内容・達成状況

上記の事業内容に加え、各保健センターの保健師や産前・産後サポート室の母子保健コーディネーターと連携し、育児不安を抱える利用者を繋ぐなど、関係機関との連絡調整を実施した。

休館中は、主に電話で育児相談の対応を実施。ただし、みやざき子育て支援センターのみで実施している一時預かりは、育児疲れによる保護者の負担感軽減のため、休館中も引き続き継続して実施した。

また、地域子育て支援センター事業を実施して、一部の事業を除いて「(A) 必要な事業量の見込み」と「(B) 確保方策」が同じ値となっています。

○実施にあたっての課題

これまで地域子育て支援センターを利用している施設の周知を図り、更なる利便性の向上を図りたいと考えています。

一部の事業を除いて「(A) 必要な事業量の見込み」と「(B) 確保方策」が同じ値となっています。
※(A)については、第二期プラン策定時に客観的なデータを基に推計した値です。
実績と確保方策の値に乖離がないかを見ながら、事業の実施状況を点検・評価していただきます。

需給計画 令和2年度～令和6年度

| 年度 | 第1期 | | | 第2期 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み | 14,273 | 13,952 | 11,279 | 11,079 | 10,937 | 10,736 | 10,578 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 13,559 | 13,952 | 11,279 | 11,079 | 10,937 | 10,736 | 10,578 |
| | ※実績 | 11,696 | 10,119 | 7,190 | - | - | - | - |
| 実施か所数 | 目標値 | 35か所 |
| | ※実績 | 35か所 | 35か所 | 35か所 | - | - | - | - |
| 中央部 | | 4,343 | 3,652 | 2,614 | 4,262 | 4,253 | 4,176 | 4,116 |
| | 実施か所数 | 8か所 |
| 中北部 | | 1,298 | 1,043 | 699 | 1,199 | 1,181 | 1,153 | 1,134 |
| | 実施か所数 | 7か所 |
| 中西部 | | 1,313 | 1,040 | 765 | 1,159 | 1,117 | 1,107 | 1,076 |
| | 実施か所数 | 6か所 |
| 南部 | | 2,141 | 1,879 | 1,339 | 2,038 | 1,994 | 1,939 | 1,925 |
| | 実施か所数 | 9か所 |
| 佐土原 | | 558 | 711 | 453 | 531 | 536 | 529 | 530 |
| | 実施か所数 | 1か所 |
| 田野 | | 334 | 259 | 173 | 309 | 308 | 293 | 290 |
| | 実施か所数 | 1か所 |
| 高岡 | | 373 | 299 | 247 | 370 | 362 | 373 | 354 |
| | 実施か所数 | 1か所 |
| 清武 | | 1,336 | 1,236 | 900 | 1,211 | 1,186 | 1,166 | 1,153 |
| | 実施か所数 | 2か所 |
| 過不足 (B-A) | △ | | | | - | - | - | |

令和3年度の取組

令和3年度の取組内容について記載しています。

・平成31年度からスタートした地域子育て支援センター気軽ににお出かけ事業(地域子育て支援センターの利用環境を向上させるために、使用済みオムツ処理機を設置する。)では、今年度は田野地域子育て支援センターと権現地域子育て支援センターにおむつ処理機を設置する。
・高岡地域子育て支援センターで、週に1回のオンライン相談をスタートする。

点検・評価

| | | |
|------------------------|---|--|
| 令和2年度の事業の進捗状況は、いかがですか。 | () 順調である () あまり順調でない | () どちらかといえば順調である () 順調でない () 評価保留 |
| この事業へのご意見をご記入ください。 | 新型コロナウイルスの影響で、点検・評価が難しい場合も想定されることから、評価項目に「評価保留」を追加することを提案します。 | |

1 利用者支援事業

第二期支援プランP.132～135

事業内容

子育て中の親子や妊産婦が、認定こども園、幼稚園、保育所などの教育・保育施設やファミリー・サポート・センター事業などの地域子ども・子育て支援事業を円滑に利用できるように、専任の子育て支援員が身近な場所で相談を受け、情報提供や助言等を行います。

また、保健・医療・福祉等の関係機関と連携して、妊娠中から乳幼児期にかけて、妊産婦や親子を切れ目なく見守り、支援します。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

【基本型】

感染拡大防止のために一時休館（4月7日～5月10日、1月9日～2月10日）したが、休館中は主に電話で育児相談の対応を実施した。

【特定型】 影響なし

【母子保健型】

産前・産後サポート事業である「ママ'sサロン」が本来、妊婦25回、産婦60回実施予定であったが、感染拡大防止の為に、中止した期間があり、妊婦19回（5回中止）、産婦48回（12回中止）で例年より減少した。また、感染防止対策として、定員を見直した為、参加人数が例年より減少した。

○実施内容・達成状況

【基本型】

市内4カ所の地域子育て支援センターにおいて、保育士等の有資格者を子育て支援員として配置し、地域子育て支援センター事業として受ける「子育ての日常的な相談」に加えて、「個別のニーズ」を把握し、地域資源の紹介や子育て支援サービスや保育施設等の情報提供を行った。

また、平成31年度から産前・産後サポート事業である「ママ'sサロン（産婦クラス）」を親子保健課と地域子育て支援センター（みやざき、佐土原、清武）で連携し運営、地域子育て支援センターで実施している。

昨年12月には、利用者支援事業の担い手となる子育て支援員を養成するための子育て支援員研修を実施した。

【特定型】

保育幼稚園課窓口担当職員に子育て支援員研修を履修させ子育て支援員の育成を図った。また、窓口業務においては、タブレット等端末を活用するなどして保護者からの相談に応じるとともに、それぞれのニーズにあった教育・保育施設や子育て支援サービス等の情報を提供した。

【母子保健型】

母子保健相談支援事業は、母子保健コーディネーター7～8名が訪問、電話、窓口来所、子育て支援センターに向向いて相談対応をした。まず、妊娠届出で把握し、1129名（34.6%）が母子保健コーディネーターの支援となっている。訪問は延べ792件、電話は延べ2384件、窓口来所は延べ381件、子育て支援センターでの相談は延べ260件だった。集団事業が中止したことで、個別対応が求められることもあり、例年より相談件数は増えている。

・産前・産後サポート事業である「ママ'sサロン」は妊婦が19回実施し、延53名、産婦が48回実施し、延180名参加したが、上記のとおり回数や利用者は新型コロナウイルスの影響で減少している。

○実施にあたっての課題

【基本型】

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、従来の対応方法では、相談や支援に繋げることが難しい子育て家庭に対し、個別の状況に応じた相談体制の強化が課題である。

【特定型】

相談対応機能強化、専任職員への研修等の実施による、子育て支援に関する知識の向上を図るとともに、利用者支援事業に関する広報を充実させ、関係機関との連携強化を図ることが今後の課題となっている。

【母子保健型】

支援対象者は、育児に不安の強い妊婦、産婦が多いが、新型コロナウイルスの影響で不安が増強する可能性もあり、より丁寧な個別対応が求められることが予想される。（母子保健コーディネーターのマンパワー不足も懸念されるところである。）

需給計画 令和2年度～令和6年度

○全体（基本型、特定型、母子保健型の計）

（単位：か所）

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | |
|----------------|-----|----|-----|----|----|----|----|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| (A) 必要な事業量の見込み | 10 | 12 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 10 | 12 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| | ※実績 | 10 | 7 | 7 | - | - | - |
| 過不足 (B-A) | 0 | △5 | 0 | - | - | - | - |

○内訳：基本型（実施場所：地域子育て支援センター）

（単位：か所）

| 年度 | 第1期 | | | 第2期 | | | |
|---------------------------------|-----|----|----------|-----|----|----|----|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| (A) 必要な事業量の見込み | - | - | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| (B) 確保方策 | 目標値 | - | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | ※実績 | 2 | 4 | 4 | - | - | - |
| 中央東・中央西・小戸・大宮・東大宮・櫛 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 大淀・大塚・大塚台・生日台・生日・小松台・赤江・北・高岡・本郷 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 佐土原・住吉 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 木花・青島・田野・清武 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 過不足 (B-A) | - | - | 0 | - | - | - | - |

○内訳：特定型（実施場所：保育幼稚園課）

（単位：か所）

| 年度 | 第1期 | | | 第2期 | | | |
|------------------|-----|----|----------|-----|----|----|----|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| (A) 必要な事業量の見込み | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (B) 確保方策 | 目標値 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ※実績 | 1 | 1 | 1 | - | - | - |
| 過不足 (B-A) | - | - | 0 | - | - | - | - |

○内訳：母子保健型（実施場所：保健センター）※子育て世代包括支援センター

（単位：か所）

| 年度 | 第1期 | | | 第2期 | | | |
|---|-----|----|----------|-----|----|----|----|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| (A) 必要な事業量の見込み | - | - | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| (B) 確保方策 | 目標値 | - | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ※実績 | 7 | 2 | 2 | - | - | - |
| 中央東・中央西・小戸・大宮・東大宮・櫛・佐土原・住吉 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 大淀・大塚・大塚台・生日台・小松台・赤江・本郷・生日・北・高岡・木花・青島・田野・清武 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 過不足 (B-A) | - | - | 0 | - | - | - | - |

令和3年度の取組

【基本型】

- ・利用者支援事業の担い手となる子育て支援員を養成するための子育て支援員研修を実施する。
- ・直営の地域子育て支援センターの子育て支援員研修未修了の保育士に研修を受講させ、子育て支援員を養成する。
- ・親子保健課と連携し、みやざき子育て支援センター、佐土原地域子育て支援センター、清武地域子育て支援センターで「ママ'sサロン(産婦クラス)」を実施する。

【特定型】

- ・子育て支援員研修未修了の窓口担当職員に研修を受講させ、利用者支援事業の担い手である子育て支援員を養成する。
- ・引続き、タブレット端末等を活用し、利用者のニーズにあった教育・保育施設や子育て支援サービス等の情報提供に努め、包括的支援を可能にするため、関係機関との連携強化を図る。

【母子保健型】

- ・宮崎市内の感染拡大、県独自の緊急事態宣言の発令に伴い、5月中の集団での事業は中止になり、産前・産後サポート事業は妊婦2回、産婦5回が中止となっている。

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない | <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

2 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）

第二期支援プランP.136～138

事業内容

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感や負担感を緩和するとともに、子どもの健やかな育ちを支援することを目的に、公共施設や保育所・認定こども園、児童館等の地域の身近な場所で、未就学児のいる子育て家庭や妊婦が交流を行う場所を提供します。また、子育てに関する相談や地域の子育て関連情報の提供、親子で参加できる講座や子育て中の保護者のための講座等を実施します。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

休館した時期(4月7日～5月10日、1月9日～2月10日)があり、開設した日数が減少したこと、また、新型コロナの感染を懸念しての来館控えから、利用人数が大幅に減少したものと推測している。

○実施内容・達成状況

上記の事業内容に加え、各保健センターの保健師や産前・産後サポート室の母子保健コーディネーターと連携し、育児不安を抱える利用者を繋ぐなど、関係機関との連絡調整を実施した。

休館中は、主に電話で育児相談の対応を実施。ただし、みやざき子育て支援センターのみで実施している一時預かりは、育児疲れによる保護者の負担感軽減のため、休館中も引き続き継続して実施した。

また、地域子育て支援センター事業を実施している運営者に対し、マスクや消毒液等の衛生用品の購入費用を助成し、施設利用者に対し、安心・安全な場所を提供した。

○実施にあたっての課題

これまで地域子育て支援センターを利用したことがない子育て家庭に、共働き家庭や父親が利用しやすい土日開所を行っている施設の周知を図り、更なる利用者の利便性を向上することが今後の課題である。

需給計画 令和2年度～令和6年度

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み | 14,273 | 13,952 | 11,279 | 11,079 | 10,937 | 10,736 | 10,578 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 13,559 | 13,952 | 11,279 | 11,079 | 10,937 | 10,736 | 10,578 |
| | ※実績 | 11,696 | 10,119 | 7,190 | - | - | - | - |
| 実施か所数 | 目標値 | 35か所 | 35か所 | 35か所 | 35か所 | 35か所 | 35か所 | 35か所 |
| | ※実績 | 35か所 | 35か所 | 35か所 | - | - | - | - |
| 中央部 | | 4,343 | 3,652 | 2,614 | 4,262 | 4,253 | 4,176 | 4,116 |
| | 実施か所数 | 8か所 | 8か所 | 8か所 | 8か所 | 8か所 | 8か所 | 8か所 |
| 中北部 | | 1,298 | 1,043 | 699 | 1,199 | 1,181 | 1,153 | 1,134 |
| | 実施か所数 | 7か所 | 7か所 | 7か所 | 7か所 | 7か所 | 7か所 | 7か所 |
| 中西部 | | 1,313 | 1,040 | 765 | 1,159 | 1,117 | 1,107 | 1,076 |
| | 実施か所数 | 6か所 | 6か所 | 6か所 | 6か所 | 6か所 | 6か所 | 6か所 |
| 南部 | | 2,141 | 1,879 | 1,339 | 2,038 | 1,994 | 1,939 | 1,925 |
| | 実施か所数 | 9か所 | 9か所 | 9か所 | 9か所 | 9か所 | 9か所 | 9か所 |
| 佐土原 | | 558 | 711 | 453 | 531 | 536 | 529 | 530 |
| | 実施か所数 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 |
| 田野 | | 334 | 259 | 173 | 309 | 308 | 293 | 290 |
| | 実施か所数 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 |
| 高岡 | | 373 | 299 | 247 | 370 | 362 | 373 | 354 |
| | 実施か所数 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 |
| 清武 | | 1,336 | 1,236 | 900 | 1,211 | 1,186 | 1,166 | 1,153 |
| | 実施か所数 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 |
| 過不足(B-A) | △ 2,577 | △ 3,833 | △ 4,089 | - | - | - | - | |

令和3年度の取組

- ・平成31年度からスタートした地域子育て支援センター気軽ににお出かけ事業(地域子育て支援センターの利用環境を向上させるために、使用済みオムツ処理機を設置する。)では、今年度は田野地域子育て支援センターと権現地域子育て支援センターにおむつ処理機を設置する。
- ・高岡地域子育て支援センターで、週に1回のオンライン相談をスタートする。

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない | <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

3 妊婦健康診査

第二期支援プランP.140～141

事業内容

妊婦の健康の保持・増進及び疾病の早期発見のため医療機関及び助産所で、妊婦に必要な検査・計測・保健指導を実施します。
妊婦健康診査にかかる費用については、妊娠届出の際に妊婦健康診査助成券を交付し、助成を行います。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

H30からR2の受診者数を比較すると、減り幅が大きくなったことから、新型コロナウイルス禍における妊娠・出産へのためらいや、感染拡大を懸念した受診控えも考えられる。

○実施内容・達成状況

対象者：宮崎市に住民登録のある妊婦（健康診査受診時）

委託先：宮崎県医師会、宮崎大学医学部附属病院、助産院（平成29年度より5施設）

方法：妊娠届時に交付された妊婦健康診査助成券を各医療機関に提出し受診する。

自己負担：1～14回目の助成券記載の検査項目について助成有り。検査のうちひと月の負担が1,500円(8回)と、無料(6回)になるよう設定。R1より非課税世帯または生活保護世帯の妊婦については全て無料。

検査内容：尿検査、血液型検査、血色素検査、梅毒検査、血糖検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、風疹ウイルス抗体検査、HTLV-I抗体検査、HIV抗体検査、胎児発育検査(超音波等)、クラミジア抗原検査、B群溶血性レンサ球菌検査、子宮頸がん検査

○実施にあたっての課題

特になし(医療機関等への委託事業であるため)

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位：人/年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み | 5,372 | 4,861 | 4,967 | 4,895 | 4,796 | 4,698 | 4,598 | |
| (B) 確保方策 | (受診者数) 目標値 | 5,372 | 4,861 | 4,967 | 4,895 | 4,796 | 4,698 | 4,598 |
| | ※実績 | 5,023 | 4,977 | 4,813 | - | - | - | - |
| 検査体制 | 実施場所 | 35か所 | | | | | | |
| | 検査項目 | 17項目 | | | | | | |
| | 実施時期 | 通年 | | | | | | |
| 過不足 (B-A) | △ 349 | 116 | △ 154 | - | - | - | - | |

令和3年度の取組

健やかな妊娠、出産を支援することが少子化対策としても有効であるため、引き続き、健診に係る費用の一部もしくは全部の助成を行うことで、妊娠・出産にかかる経済的不安の軽減を図り、安心・安全に妊娠し出産できる環境の整備に努める。

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない | <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

4 乳児家庭全戸訪問事業

第二期支援プランP.142～143

事業内容

生後4か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭を、訪問指導員(看護師)などが訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境などの把握を行います。
また、訪問時に子育て情報誌などを配布し、子育てに関する情報提供や予防接種の勧奨、保健センターの保健師及び民生委員・児童委員などの相談窓口を紹介します。さらに、訪問指導員の研修を実施し、資質向上を図ります。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

コロナ禍で訪問中止が2回あった。(4/20～5/8、8/1～7)中止期間は、主に電話で状況確認や情報提供等支援を行った。また、訪問を希望する人には、感染対策を取りながら実施した。訪問再開後には、訪問回数を増やし積極的に活動したため、大きな影響はなかった。

○実施内容・達成状況

本事業は、平成20年8月から市内13地区で民生委員・児童委員の協力のもと事業開始し、平成23年3月から市内全域に拡大している。
平成25年度からは、母子訪問指導事業(保健師、助産師の訪問)と訪問指導員(看護師)が訪問し、子育て情報誌など配布しながら相談に応じる。必要に応じて地区担当保健師などに相談・支援の継続を行う。令和2年度に訪問指導員が把握し、繋いだ要支援者は3人であった。

○実施にあたっての課題

訪問しても不在、電話連絡もつかない世帯があり、効果的な訪問および訪問実施率の向上が今後の課題である。

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位：人/年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み | 3,352 | 3,279 | 3,350 | 3,295 | 3,235 | 3,169 | 3,101 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 3,352 | 3,279 | 3,350 | 3,295 | 3,235 | 3,169 | 3,101 |
| | ※実績 | 3,388 | 3,183 | 3,055 | - | - | - | - |
| 実施体制 | 訪問指導員 | | 3人 | | | | | |
| 過不足(B-A) | 36 | △96 | △295 | - | - | - | - | |

令和3年度の取組

訪問しても不在という世帯については、予防接種や乳児健診の受診状況等を把握した上で、地域保健課や子育て支援課と連携し、乳児の所在確認に努める。

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---------------------------|--|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | () 順調である () あまり順調でない | () どちらかといえば順調である () 順調でない () 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

5 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

第二期支援プランP.144～145

事業内容

要保護児童対策地域協議会(子どもを守る地域ネットワーク)の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員(関係機関)の専門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を図る取組を実施します。
また、市内に居住する若年の妊婦及び妊婦健康診査未受診などの妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする家庭の他、出産後の間もない時期(概ね1年程度)の養育者が育児ストレスなどの問題によって、子育てに対して強い不安を抱える家庭を対象に、保健師や保育士などが家庭訪問を実施し、指導や助言を行います。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

1.要保護児童対策地域協議会(子どもを守る地域ネットワーク)

新型コロナウイルス感染症の影響により、代表者会議1回と実務者会議2回を书面での開催とした。

2.養育支援訪問

訪問支援者の資質向上を図るための研修会が中止となり、資料配布のみ行った。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、自宅訪問が困難となる場合や、定期的な訪問を拒否される場合があった。また、医療従事者との接触が困難となり、ケース会議が開催できない時期があった。

○実施内容・達成状況

1.要保護児童対策地域協議会(子どもを守る地域ネットワーク)

要保護児童対策地域協議会の事務局を子育て支援課に設置し、実務者会議、個別ケース検討会議の開催や研修会を実施した。

2.養育支援訪問

子育て支援課の保健師、保育士などが家庭訪問し、適切な養育が行えるようになるための専門的な相談・支援を実施した。また、市内6か所の保健センターに所属する新規採用職員(保健師)を対象に、事業説明会を行った。

《養育支援訪問対象者》

(1) 出産後間もない時期(おおむね1年程度)の養育者で、助産師及び保健師による家庭訪問において、特に養育支援が必要と認められる世帯

(2) 出産後の養育について、出産前において特に支援が必要と認められる妊婦(特定妊婦)

○実施にあたっての課題

1.関係機関の相互理解と、緊密な連携を図るため、研修の実施、会議の在り方の検討

2.養育支援対象者を把握し、きめ細かい支援を行うための体制の充実

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位：世帯/年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | |
|----------------|-----|----|-----|----|----|----|----|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| (A) 必要な事業量の見込み | 18 | 18 | 14 | 14 | 13 | 13 | 13 |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 18 | 14 | 14 | 13 | 13 | 13 |
| | ※実績 | 14 | 10 | 9 | - | - | - |
| 過不足(B-A) | △4 | △8 | △5 | - | - | - | - |

令和3年度の取組

1.保育園、幼稚園、小学校、中学校、地区民生委員・児童委員協議会等へ出前講座を実施したり、要保護児童対策地域協議会関係機関に向けた研修会を実施したりすることで、専門性と連携の強化に努める。代表者会議、関係機関連絡会議にて要保護児童対策地域協議会についての協議や関係機関との情報交換を行い、連携の強化に努める。また、必要に応じて関係機関と個別ケース検討会議を開催し、要保護児童への支援・対応について協議する。
2.保健センター等、関係職種向けに研修を実施し、専門性の強化を図るとともに、連携した対応に努める。また、育児・家事支援の実施について検討する。

点検・評価

| | |
|-------------------------------|--|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | |

6 子育て短期支援事業（ショートステイ）

第二期支援プランP.146～147

事業内容

保護者の疾病や出産などの理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童福祉施設等において必要な養育を行う事業です。他に養育する方がいない家庭の児童（生後3か月から18歳未満）を、原則半期ごとに7日間を限度として預かることで、その家庭への子育て支援を図ります。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

感染予防のため、児童福祉施設が受け入れを停止していた時期があったことから、利用実績が減少した。

○実施内容・達成状況

| | | | | |
|--------|------------|----------|--------|-------------|
| 【実施施設】 | カリタスの園 | 乳児院 | つぼみの寮 | (実績：延べ2日) |
| | 宮崎福祉会 | 児童養護施設 | みんせいかん | (実績：延べ35日) |
| | 再生会 | 児童養護施設 | さくら学園 | (実績：延べ13日) |
| | 宮崎県社会福祉事業団 | 児童養護施設 | 青島学園 | (実績：延べ45日) |
| | 成就会 | ファミリーホーム | ひまわり | (実績：延べ144日) |

○実施にあたっての課題

施設の受け入れには限界があり、特に2歳未満の子どもの受け入れが可能な施設は乳児院に限られているため、利用者のニーズに十分応えられない場合がある。

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位：世帯/年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み | 356 | 200 | 209 | 207 | 206 | 204 | 202 | |
| (B) 確保方策 (利用延べ日数) | 目標値 | 356 | 200 | 209 | 207 | 206 | 204 | 202 |
| | ※実績 | 213 | 288 | 239 | - | - | - | - |
| 過不足 (B-A) | △ 143 | 88 | 30 | - | - | - | - | |

令和3年度の取組

- ・事業の利用促進を図るために、保護者等への周知に努める。
- ・児童福祉法の改正により、令和3年4月1日から、子育て短期支援事業について、市町村が里親等に直接委託して実施することが可能となったことから、里親等への委託又は再委託について検討を行っていく。

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない | <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

7 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）《対象：就学児（小学生）》

第二期支援プランP.148～149

事業内容

小学生の児童を養育中の保護者で、児童の預かりなどの援助を受けることを希望する者（依頼会員）と、当該援助を行うことを希望する者（援助会員）を会員として、その会員間の連絡・調整を行う事業です。
学校の迎えや帰宅後の預かりなどの育児援助活動を行うことにより、子育て中の保護者が仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行います。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって金銭的、精神的な負担が増加している子育て世帯を支援するため、ファミリー・サポート・センター事業を利用した依頼会員が援助会員に支払う謝礼金を補助する「利用促進事業」を実施。7月～3月の期間で、1日あたり3時間を上限として全額を助成した。「利用促進事業」を実施したことにより、利用者数・利用件数ともに大幅に増加した。

援助会員については、新型コロナウイルス感染症の影響で講習会が一部中止となり、会員数を増やすことができなかった。

○実施内容・達成状況

育児の手助けをしてほしい人と育児の協力をしたい人が互いに助け合う組織「ファミリー・サポート・センターみやざき」を運営し、会員の確保や事業の広報啓発を行った。

達成状況としては、「利用促進事業」により、延べ利用者数は大幅に増加した。

令和3年度以降も、「利用料補助事業」として、利用料と補助額を変更した上で補助事業を継続し、更なる子育て世帯の負担軽減を図る。

○実施にあたっての課題

子育て世帯の様々なニーズに対応するためには、援助会員を増やす必要がある。

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位：人/年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み (延べ利用者数) | 765 | 1,303 | 1,381 | 1,464 | 1,552 | 1,645 | 1,743 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 765 | 1,303 | 1,381 | 1,464 | 1,552 | 1,645 | 1,743 |
| | ※実績 | 1,229 | 1,767 | 3,140 | - | - | - | - |
| 中央部 | 362 | 444 | 1,024 | 425 | 449 | 474 | 502 | |
| 中北部 | 218 | 293 | 666 | 260 | 275 | 292 | 309 | |
| 中西部 | 473 | 400 | 403 | 563 | 597 | 633 | 671 | |
| 南部 | 11 | 471 | 753 | 13 | 14 | 15 | 16 | |
| 佐土原 | 57 | 59 | 71 | 68 | 72 | 76 | 81 | |
| 田野 | 1 | 0 | 0 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| 高岡 | 0 | 0 | 22 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| 清武 | 107 | 100 | 201 | 127 | 135 | 143 | 152 | |
| 過不足 (B-A) | 464 | 464 | 1,759 | - | - | - | - | |

令和3年度の取組

新しく「利用料補助事業」を実施することで、更なる子育て世帯の負担軽減を図る。また、利用料の改定を行うことで、更なる援助会員の獲得につなげる。

《利用料補助事業の概要》

- ・時間帯や曜日等に関わらず、1時間当たりの利用料は一律800円。
- ・市補助額 …1時間当たり600円 ・自己負担額…1時間当たり200円。

点検・評価

| | |
|-------------------------------|--|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | |

8-(1) 一時預かり事業（幼稚園）

第二期支援プランP.150～151

事業内容

教育標準時間認定を受けた児童について、認定こども園及び幼稚園において教育標準時間終了後に引き続き預かり、必要な保育を行う事業です。
在園児について、認定こども園及び幼稚園で受け入れることにより、広く子育て世帯の支援を図るものです。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

登園自粛を要請した期間があったため、登園日数が減少し、利用人数に影響があったものと推測する。

○実施内容・達成状況

教育標準時間認定を受けた幼児について、幼稚園及び認定こども園において教育標準時間終了後に引き続き預かり、必要な保育を行う事業である。

【実施場所】 認定こども園、私立幼稚園

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位：人/年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み (延べ利用者数) | 263,582 | 259,198 | 355,073 | 379,447 | 404,519 | 444,967 | 491,754 | |
| (B) 確保方針 | 目標値 | 263,582 | 259,198 | 355,073 | 379,447 | 404,519 | 444,967 | 491,754 |
| | ※実績 | 308,943 | 349,000 | 362,689 | - | - | - | - |
| 中央部 | 84,928 | 87,813 | 94,030 | 92,386 | 101,520 | 112,496 | 124,047 | |
| 中北部 | 46,835 | 50,128 | 60,017 | 70,554 | 74,960 | 82,508 | 91,367 | |
| 中西部 | 30,552 | 48,656 | 45,949 | 70,056 | 72,659 | 80,764 | 88,152 | |
| 南部 | 75,917 | 71,729 | 66,046 | 65,853 | 68,486 | 74,139 | 83,136 | |
| 佐土原 | 35,432 | 55,328 | 61,935 | 32,802 | 35,920 | 38,922 | 43,638 | |
| 田野 | 9,948 | 8,589 | 7,414 | 11,254 | 12,129 | 12,378 | 13,734 | |
| 高岡 | 8,590 | 7,963 | 8,064 | 9,937 | 10,491 | 12,378 | 12,711 | |
| 清武 | 16,741 | 18,794 | 19,234 | 26,605 | 28,354 | 31,382 | 34,969 | |
| 過不足 (B-A) | 45,361 | 89,802 | 7,616 | - | - | - | - | |

令和3年度の取組

市内の認定こども園及び私立幼稚園における幼稚園型一時預かり事業について、引き続き推進に努める。

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない | <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

8-(2) 一時預かり事業(その他)

第二期支援プランP.152~154

事業内容

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった児童について、主に昼間に保育所や子育て支援拠点やその他の場所で、児童を一時的に預かり、必要な保育を行う事業です。

保護者の就労の有無にかかわらず、育児疲れの解消や急病などで一時的に児童を受け入れることにより、広く子育て世帯の支援を図ります。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

市内で外出や行事の自粛等の期間があったため、利用人数が減少したものと推測する。

○実施内容・達成状況

【実施場所】 保育所、認定こども園、私立幼稚園

【対象児童】

- ・保護者の就労、傷病などにより緊急かつ一時的に家庭における保育が困難な児童
- ・保護者の心理的又は肉体的負担を解消するために一時保育が必要とされる児童

○実施にあたっての課題

・一時預かり事業においては、保育所等の近年の入所児童数の増加及び保育士不足により、特に年度の後半で一時預かりを希望しても利用できない施設がある。

※子育て援助活動については、「7 子育て援助活動支援事業(ファミリーサポートセンター)」のとおり。

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位:人/年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------------------|---------|----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み (延べ利用者数) | 34,128 | 33,387 | 21,182 | 19,546 | 18,105 | 16,785 | 15,621 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 34,128 | 33,387 | 21,182 | 19,546 | 18,105 | 16,785 | 15,621 |
| | ※実績 | 24,999 | 19,634 | 13,652 | - | - | - | - |
| 中央部 | 一時預かり | 5,350 | 4,302 | 2,546 | 4,618 | 4,264 | 3,920 | 3,587 |
| | 子育て援助活動 | 725 | 977 | 1,763 | 861 | 912 | 967 | 1,023 |
| 中北部 | 一時預かり | 1,853 | 1,215 | 740 | 3,251 | 2,978 | 2,712 | 2,480 |
| | 子育て援助活動 | 118 | 182 | 659 | 141 | 149 | 158 | 167 |
| 中西部 | 一時預かり | 6,232 | 4,496 | 2,684 | 3,219 | 2,901 | 2,653 | 2,402 |
| | 子育て援助活動 | 90 | 79 | 79 | 107 | 114 | 120 | 128 |
| 南部 | 一時預かり | 4,570 | 3,410 | 1,936 | 3,008 | 2,715 | 2,450 | 2,252 |
| | 子育て援助活動 | 447 | 317 | 676 | 532 | 564 | 598 | 634 |
| 佐土原 | 一時預かり | 980 | 737 | 550 | 1,513 | 1,400 | 1,267 | 1,166 |
| | 子育て援助活動 | 48 | 25 | 145 | 57 | 61 | 64 | 68 |
| 田野 | 一時預かり | 1,601 | 1,209 | 646 | 489 | 452 | 397 | 365 |
| | 子育て援助活動 | 0 | 0 | 1 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 高岡 | 一時預かり | 479 | 737 | 474 | 432 | 392 | 374 | 329 |
| | 子育て援助活動 | 6 | 8 | 15 | 7 | 8 | 8 | 9 |
| 清武 | 一時預かり | 2,472 | 1,861 | 468 | 1,275 | 1,156 | 1,055 | 965 |
| | 子育て援助活動 | 28 | 79 | 270 | 33 | 35 | 37 | 40 |
| 過不足(B-A) | △ 9,129 | △ 13,753 | △ 7,530 | - | - | - | - | |

令和3年度の取組

・一時預かり事業に取り組む私立幼稚園や認定こども園の拡大を図り、利用者の利便性の向上に努める。

点検・評価

| | |
|-------------------------------|--|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | |

9 延長保育事業

第二期支援プランP.156～157

事業内容

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日や時間に、認定こども園、保育所などにおいて保育を実施する事業です。
保護者の就労形態の多様化などに伴い、保育時間延長の需要に対応するため、11時間の開所時間後に更に1～7時間の延長保育を実施します。

令和2年度 of 取組状況

○新型コロナウイルスの影響

登園自粛を要請した期間があったため、登園日数が減少し、利用人数に影響があったものと推測する。

○実施内容・達成状況

保育認定を受けた児童について、通常 of 保育時間以外に、認定こども園、保育所などにおいて保育を実施する事業である。

【実施施設数】公立保育所、私立保育所、認定こども園、小規模保育施設

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位：人／年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|-------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量 of 見込み (延べ利用者数) | 2,483 | 2,436 | 2,505 | 2,485 | 2,471 | 2,405 | 2,345 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 2,483 | 2,436 | 2,505 | 2,485 | 2,471 | 2,405 | 2,345 |
| | ※実績 | 2,532 | 2,299 | 1,539 | - | - | - | - |
| 中央部 | 747 | 721 | 548 | 645 | 646 | 637 | 621 | |
| 中北部 | 260 | 236 | 174 | 454 | 453 | 440 | 429 | |
| 中西部 | 338 | 300 | 173 | 449 | 441 | 430 | 416 | |
| 南部 | 628 | 556 | 320 | 420 | 413 | 397 | 390 | |
| 佐土原 | 132 | 106 | 75 | 211 | 213 | 205 | 202 | |
| 田野 | 155 | 150 | 76 | 68 | 69 | 64 | 63 | |
| 高岡 | 94 | 86 | 69 | 60 | 60 | 61 | 57 | |
| 清武 | 178 | 144 | 104 | 178 | 176 | 171 | 167 | |
| 過不足 (B-A) | 49 | △ 137 | △ 966 | - | - | - | - | |

令和3年度 of 取組

- ・公立保育所(5ヶ所)、私立保育所(75ヶ所)における延長保育事業について、引き続き推進に努める。
- ・認定こども園(69ヶ所)、小規模保育施設(A型:9施設、事業所内:2施設)においても事業を推進する。

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---------------------------|--|
| 令和2年度 of 事業の進捗状況は いかがでしょうか | () 順調である () あまり順調でない | () どちらかといえば順調である () 順調でない () 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

10 病児保育事業

第二期支援プランP.158～159

事業内容

病中や病気の「回復期」にあつて保育所などに通所できない児童に対して、保育所、病院などに付設された専用スペースにおいて一時的に預かる事業です。
事業の実施により、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、感染症などの重症化を防ぎ、児童が心身ともに健やかに成長することを図ります。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響

インフルエンザ患者の減少や、風邪症状ある児童の自宅保育が勧められたこと等により、利用人数が減少したと推測する。

○実施施設 6施設

○実施内容

【対象】病児・病後児保育事業を実施する病院、保育所等

【手段】病児・病後児保育事業に係る経費の一部を補助した。

病気回復期の児童(小学校6年生まで)が、集団保育や家庭での保育が困難な時期に、当該児童を看護師や保育士がいる専用施設内で一時的に預かる。

○実施にあたっての課題

病中や病気回復期に施設を利用したい子どもが、時期によっては定員制限などにより利用できない場合がある。

需給計画 令和2年度～令和6年度

(単位：人／年)

| 年度 | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み | 4,037 | 3,954 | 3,102 | 3,064 | 3,022 | 2,977 | 2,925 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 4,037 | 3,955 | 7,452 | 7,452 | 7,452 | 7,452 | 7,452 |
| | ※実績 | 3,177 | 3,420 | 1,550 | - | - | - | - |
| 中央・大宮・北 | 量の見込み | 851 | 1,023 | 387 | 645 | 646 | 637 | 621 |
| | 確保方策 | | | 1,758 | 1,758 | 1,758 | 1,758 | 1,758 |
| 大塚・大淀・生目・高岡 | 量の見込み | 474 | 303 | 120 | 454 | 453 | 440 | 429 |
| | 確保方策 | | | 1,164 | 1,164 | 1,164 | 1,164 | 1,164 |
| 檜 | 量の見込み | 638 | 605 | 266 | 449 | 441 | 430 | 416 |
| | 確保方策 | | | 1,644 | 1,644 | 1,644 | 1,644 | 1,644 |
| 赤江・木花・青島 | 量の見込み | 476 | 453 | 213 | 420 | 413 | 397 | 390 |
| | 確保方策 | | | 1,152 | 1,152 | 1,152 | 1,152 | 1,152 |
| 住吉・佐土原 | 量の見込み | 470 | 633 | 308 | 211 | 213 | 205 | 202 |
| | 確保方策 | | | 1,164 | 1,164 | 1,164 | 1,164 | 1,164 |
| 田野・清武 | 量の見込み | 268 | 403 | 256 | 68 | 69 | 64 | 63 |
| | 確保方策 | | | 1,156 | 1,156 | 1,156 | 1,156 | 1,156 |
| 過不足 (B-A) | △ 860 | △ 534 | △ 1,552 | - | - | - | - | |

※令和2年度以降の「確保方策」は、各施設の年間受入可能数の合計です。

(計算式：確保方策＝施設定員×施設開所日数)

令和3年度の取組

- ・小学生の保護者への事業の周知を行います。
- ・市内の小児科及び耳鼻咽喉科の医療機関に、病児保育事業のパンフレットを設置します。
- ・利用希望が多い時期に、施設側が定員を超えて受け入れできる体制を整備するよう依頼します。

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない | <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

1.1 放課後児童健全育成事業

第二期支援プランP.160～162

事業内容

就労などにより昼間家庭に保護者がいない世帯で小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や土曜日、夏休みなどの長期休業日に放課後児童クラブにおいて適切な遊び及び生活の場を提供しています。

令和2年度の取組状況

○新型コロナウイルスの影響
影響なし

○実施内容・達成状況

放課後児童クラブ設置数：54か所

登録児童数：4,463名

待機児童数：146名（R2.5.1現在）

学校内の施設を整備し（3か所）、合計94名の定員増を図りました。

○実施にあたっての課題

児童クラブの待機児童数が多い学校では、児童数の増に伴い教室が不足しており、児童クラブとして利用可能な教室の確保が困難となっています。

需給計画 令和2年度～令和6年度

《低学年》

（単位：人／年）

| 年度 | | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み | | 3,532 | 3,880 | 4,231 | 3,934 | 3,931 | 3,932 | 3,915 | |
| | うち1年生 | 1,701 | 1,701 | 1,853 | 1,723 | 1,705 | 1,716 | 1,696 | |
| | うち2年生 | 1,260 | 1,431 | 1,520 | 1,452 | 1,466 | 1,457 | 1,473 | |
| | うち3年生 | 571 | 748 | 858 | 759 | 760 | 759 | 746 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 【人数】 | 3,464 | 4,033 | 3,874 | 3,914 | 3,931 | 3,932 | 3,915 |
| | | 【か所数】 | 50 | 52 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 |
| | 実績 | 【人数】 | 3,464 | 3,820 | 4,131 | - | - | - | - |
| | | 【か所数】 | 50 | 52 | 54 | - | - | - | - |
| 過不足 (B-A) | | △ 68 | △ 60 | △ 100 | - | - | - | - | |

《高学年》

（単位：人／年）

| 年度 | | 第1期 | | 第2期 | | | | | |
|----------------|-------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
| (A) 必要な事業量の見込み | | 204 | 330 | 378 | 338 | 338 | 338 | 338 | |
| | うち4年生 | 158 | 239 | 283 | 245 | 243 | 243 | 242 | |
| | うち5年生 | 36 | 73 | 70 | 75 | 77 | 77 | 78 | |
| | うち6年生 | 10 | 18 | 25 | 18 | 18 | 18 | 18 | |
| (B) 確保方策 | 目標値 | 【人数】 | 178 | 195 | 314 | 314 | 314 | 326 | 338 |
| | | 【か所数】 | 50 | 52 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 |
| | 実績 | 【人数】 | 178 | 314 | 332 | - | - | - | - |
| | | 【か所数】 | 50 | 52 | 54 | - | - | - | - |
| 過不足 (B-A) | | △ 26 | △ 16 | △ 46 | - | - | - | - | |

令和3年度の取組

恒常的な待機児童解消のため、那珂・かのう・宮崎南・江南児童クラブにおいて、学校内の施設や学校外の民間施設などの整備を行い、定員拡大を図る予定。

【定員拡大予定数】

那珂:41名 かのう:37名 宮崎南:10~25名 江南:10~25名

点検・評価

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 令和2年度の事業の進捗状況は いかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない | <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、 ご意見をご記入ください。 | | |

1.2 実費徴収に係る補足給付を行う事業

第二期支援プランP.164

事業内容

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき給食費(副食材料費)、日用品や文房具等物品の購入に要する費用または行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

1 教育・保育給付認定保護者に対する日用品・文房具に要する費用の給付

低所得者で生計が困難である教育・保育給付認定保護者の子どもが、特定教育・保育、特別利用保育の提供を受けた場合において、当該保護者が支払うべき実費徴収額に対して、市がその一部の給付を行います。

【対象者】 特定教育・保育施設を利用している生活保護世帯等 ※保育料第1階層のすべての認定子ども

2 施設等利用給付認定保護者に対する副食材料費に要する費用の給付

施設等利用給付認定保護者にかかる施設等利用給付認定子どもが、特定子ども・子育て支援を受けた場合において、当該保護者が支払うべき食事の提供(副食の提供に限る。)にかかる実費徴収に対して、市がその一部の給付を行います。

【対象者】 新制度未移行幼稚園を利用している低所得世帯及び多子世帯 ※満3歳以上の子どものみ

令和2年度の実績状況

○新型コロナウイルスの影響
影響なし。

○実施内容・達成状況

保護者の世帯の所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設に対して保護者が支払うべき日用品・保育に必要な物品の購入に要する費用等を助成した。また、私学助成幼稚園等利用されている低所得世帯及び多子世帯を対象に副食材料費を助成した。

実績

※事業の性質から、需給計画を立て取り組むものではないため、実績のみを掲載 (単位:人/年、円/年)

| 年度 | | | 第1期 | | 第2期 | | | | |
|----|-----------|-----|---------|---------|---------|----|----|----|----|
| | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| 実績 | 日用品・文房具費等 | 人数 | 113 | 109 | 102 | - | - | - | - |
| | | 給付額 | 980,938 | 946,520 | 926,361 | - | - | - | - |
| | 副食材料費 | 人数 | 13 | 68 | 48 | - | - | - | - |
| | | 給付額 | 319,220 | 667,596 | 510,000 | - | - | - | - |

令和3年度の実績

・制度の利用促進を図るため、教育・保育施設等と連携し、対象世帯に対する案内を実施し、事業の周知に努める。

点検・評価

| | | |
|---------------------------|---|---|
| 令和2年度の事業の進捗状況はいかがでしょうか | <input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない | <input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない <input type="checkbox"/> 評価保留 |
| この事業への取組について、ご意見をご記入ください。 | | |